

## NPO 法人自殺対策支援センター ライフリンク 代表 清水 康之氏

元 NHK 報道ディレクター。自死遺児たちの取材をきっかけに、自殺対策の重要性を認識。2004年にNHKを退職し、ライフリンクを設立。10万人署名運動等を通して2006年の「自殺対策基本法」成立に大きく貢献する。自殺予防の第一人者として日本全国のみならず、韓国等でも活躍。元内閣府参与（自殺対策担当）。著書に『自殺実態白書 2013』（ライフリンク編）、共著に『自殺社会から「生き心地の良い社会」へ』（講談社文庫）など。

## NPO 法人あきた自殺対策センター 蜘蛛の糸 理事長 佐藤 久男氏

秋田県森吉町1943年10月20日生。秋田県職員だったが、脱サラし、会社を経営するが自己破産。うつ病と幻覚症状に悩まされる。2002年友人の経営者の自殺を契機に中小企業経営者の自殺防止を目的にNPO法人蜘蛛の糸を立ち上げる。2009年「フンストップ」の「いのちの総合相談会」を立ち上げ、秋田県の自殺予防の第一人者として精力的に活動。自殺予防の父。著書に「死んではいけない」（ゆいぽーと）等多数。



## 山形いのちの電話

「山形いのちの電話」は、自殺予防を主な目的に、様々な危機に追い込まれている方々が、再び生きる力を取り戻されることを願い電話相談の活動をしている。相談員は無償のボランティアで、主婦や退職された方、そして現役で職場から駆けつけてくださる方など。

## 心の健康づくりボランティア ほっとハート庄内

平成27年から酒田市で活動。心の健康づくりをサポートする活動の一つとしてコーヒーサロン「とまり木」を開催し、心の悩み相談、心の休まる場所を提供している。

## 山形県立こころの医療センター 精神科認定看護師 板垣 健氏

山形県立こころの医療センター勤務。平成25年呼吸療法認定士取得。平成27年精神科認定看護師取得。自殺の危機にある人に接する時の方法を踏まえながら、こころのサポーター（ゲートキーパー）の役割等について様々な場面で研修を行っている。

## 「山形県庄内発！こころを元気にするプロジェクト」

庄内2市3町（鶴岡市、酒田市、庄内町、遊佐町、三川町）に住んでいるメンバーが運営委員会を立ち上げて、「自殺に特効薬はない」、「自殺にフタをしない」、「自殺の問題を特別なこととしない」というテーマで様々な自殺予防の活動に取り組んでいます。

## -----お申し込み方法-----

下記の当てはまる事項をご記入の上、**FAXまたは電話、E-Mail**でお申し込みください。切 10/6 (金) **FAX:0235(33)8730**

ふりがな <b>お名前</b>  (所属等: )	連絡先	TEL	FAX
		E-Mail	

↓ご希望のところへ○をつけてください。

<b>基調講演に参加します。</b>			
分科会に参加します。  ※右記の①②③からお選びください。 →	①	秋田モデルの活動から学ぶ 「いのちの総合相談会」の取り組み	
	②	地域で自殺予防の活動に取り組んでいる 団体の活動から「身近な地域で活動すること」	
	③	こころのサポーター養成講座 「こころのサポーターの役割や心得について」	
<b>弁当を注文します。</b> ※代金（1個500円）は、当日受付で頂戴します。			

※ご連絡いただいた個人情報は本イベントの目的以外で使用することはありません。